

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	いわき市立小名浜第二小学校 第5学年 児童 65名 第6学年 児童 93名 計158名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 (学級活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピックメダリストからメダルを獲得するまでの努力や工夫について話を伺い、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力してやりぬく心を育てる。 (2) オリンピックでのエピソード等について伺い、来る2020年東京オリンピックに対する児童の気運を盛り上げる。
5 取組内容	1 事前指導 ロンドンオリンピック金メダリストの小原日登美さんを講師としてお招きし、オリンピックでの経験等についてお話しいただくことを伝える。 2 小原日登美さん講演会 (1) 講演「ロンドンオリンピックを目指して」 講演では、レスリングとの出会いからお話しいただき、当時の約束やオリンピックに向けての練習中に意識していたことなど、レスリングに対する考え方や姿勢についてお話しいただいた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><5つの約束></p> <p>あ あいさつは聞こえるようにはっきりと</p> <p>い いじめんとけんかはしません</p> <p>う うそはぜったいつきません</p> <p>え 笑顔でがんばります</p> <p>お お父さんお母さんの言うことを聞きます</p> </div> 



練習中意識していたこと

- 練習は試合のように、試合は練習のように
- 素直に話を聞く
- 反復練習
- できなかった事をそのままにしない

その中で、「あきらめなければ夢はかなう」「継続は力なり」などの人として生きていくために大切なことについてもお話しいただいた。

(2) 質問コーナー



児童の質問にも、優しくていねいに答えていただき、大変勉強になったと共に、親近感も感じられた。

(3) ふれあいタイム



講演会の後半は、会場の後方に準備したマットの上で代表児童によるレスリング体験を行った。

小原さんの指導のもと、タックルなどの技を実際に体験させていただいた。また、参加者全員で柔軟運動にも取り組み、和やかな時間を過ごすことができた。



講演の最後には、金メダルを見せていただき、全員が実物に触れさせていただくこともできた。また、児童一人一人と握手をしていただいた。



	
<p>6 主な成果</p>	<p>○ロンドンオリンピック金メダリストの小原日登美氏の講演から、メダルを獲得するまでの努力や工夫を伺うと共に、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力してやりぬくことの大切さについて学んだ。</p> <p>このことは、本校の指導指針である「心で満点（本気・感謝・笑顔）」にもつながる内容であり、児童はその思いをいっそう強く自分のものとして持つことができた。</p> <p>○オリンピックでのエピソード等についてうかがったり、実際の練習や動きを体験させていただいたりすることを通して、来る2020年東京オリンピックに対する児童の興味・関心や気運を盛り上げることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○講演者との事前の打ち合わせを通して、講演で使用するDVDやパワーポイントの内容について確認することができた。その結果、本校の教育指針に合った内容の講演とすることができた。</p> <p>○オリンピック金メダリストの小原日登美さんとの出会いや驚き・感動を大切にするため、児童には、あえて詳しい情報は与えなかった。また、事前にインターネット等による調べ学習も行わなかった。結果として、児童の心に残る有意義な講演となった。</p> <p>○実技を体験できる内容としていただき、金メダリストのすごさやレスリングの楽しさが伝わる講演となった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○活動の評価を、今後の学習にどのように活かしていけるのか考えていく必要がある。</p> <p>○家庭や地域への情報発信についても、様々な方法を考え、オリンピック・パラリンピック教育に対する理解をさらに深めることが必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度の成果を生かし、オリンピック・パラリンピック教育の考え方を年間の指導に取り入れていきたい。</p>